

市役所あれこれ便利電話
おしえてコールひろしま
年中無休8~21時
☎082-504-0822
FAX 082-504-2121

●担当課へは各課直通番号で
●市外局番の記載のない電話番号
は全て市外局番(082)です

広報 ひろしま

市民と市政

令和3(2021)年

6.1

通巻1719号

広報紙は1日と15日に発行します

-ひろしま産day-

「ひろしま地産地消の日」
が始まります。

毎月第3日曜日は、
地産地消をしよう

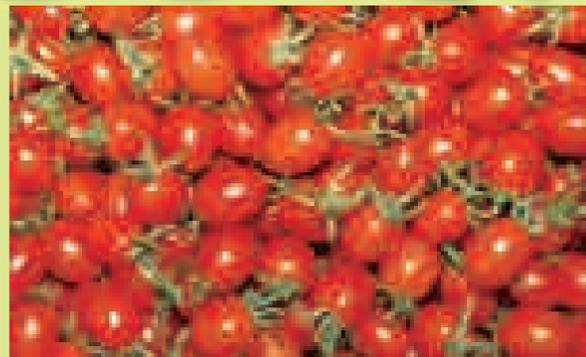
“ひろしまそだち”は、広島
市内の農林漁業者が市内で
生産した産品などに表示で
きるシンボルマークです。



市は、地産地消の大切さを広く知ってもらうために、令和3年6月20日(日)から、毎月第3日曜日を-ひろしま産day-「ひろしま地産地消の日」に制定しました。

農政課(☎504-2247、☎504-2259)

使おう、食べよう ひろしまそだち



(上写真1段目)観光農園イチゴ狩りmogberryのビニールハウス。おいしく実ったイチゴと、代表の中池哲平さん/(2段目)下谷農園の下谷邦代さんと、ビニールハウス内のスターチス/(3段目中央・右)Farm Takeuchiで収穫されたミニトマトと、代表の武内誠さん/(3段目・左)市内で生産量の多いコマツナ

地産地消とは？

地域で取れたものを地域で消費する。それが地産地消です。地元産品の応援や地域の活性化、運送エネルギーの削減につながり、持続可能な開発目標であるSDGs⑩「つくる責任 つかう責任」に関連する取り組みに当たります。

市は、市内農林漁業者が市内で生産した新鮮・安心な“ひろしまそだち”農林水産物や、広島広域都市圏の農林水産物を通じた地産地消を

進めています。地産地消の大切さをより広く知ってもらうために、このたび、毎月第3日曜日を「ひろしま地産地消の日」としました。

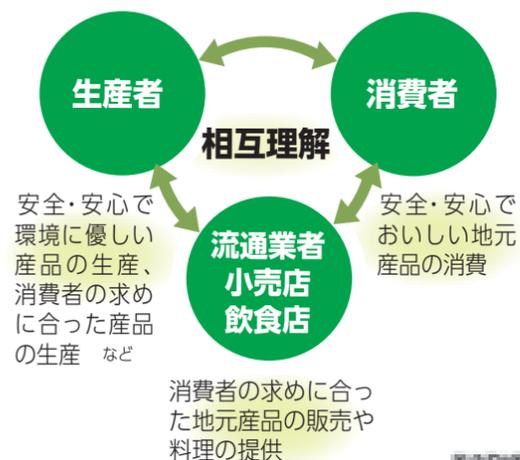
目指すのは、持続可能な「農業」の実現

同日を制定した目的の一つに、持続可能な農業の実現があります。地産地消の利点を広く知ってもらい、生産者、消費者、流通業者などの相互理解を促し、地元産品を通じて関わる全ての人により効果を生み出していく(右図)ことが、市が目指す農業の実現につながります。

ミニトマト農園「Farm Takeuchi」代表の武内さん(上写真)は「いい取り組みだと思う。地元産品への需要が増える一方で、それを取り扱っているスーパーが少ないのが現状。これを機に小売店などの関心が高まれば」と期待を込めます。

市は今後、企業と連携した「地産地消ツアー」や地元産品を使った地産地消イベント(令和元年)たレシピ動画配信などのPR活動、消費者と生産者を結ぶ地産地消イベントなどを開催予定です。

市が目指す地産地消のイメージ



詳しくは市ホームページで ページ番号 4872